第18号様式の5 (第54条関係)

除去済み特例区域台帳

整理番号	条特 2023-4	区域番号	条特 - 12	所	在地	名古屋市東区	泉三丁目	1310番2	
調製·訂正年月	日	令和5年7月19	月						
除去済み特例区	三域の概況	更地	更地				面積	98. 05 m²	
	報告受理年月日	指定に係る特別	指定に係る特定有害物質の種類			合しない基準	項目		指定調査機関の名称
 除去済み特例	R5. 5. 17	鉛及びその化合物	鉛及びその化合物			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			株式会社フィールド・ パートナーズ
医域内の土壌						溶出量基準•			
の汚染状態				含有量	基基準	溶出量基準·	第二溶出	量基準	
				含有量	基基準	溶出量基準•	第二溶出	量基準	
				含有量	基基準	溶出量基準·	第二溶出	量基準	
	届出(着手)時期	完了時期	完了時期 土地の形質の			変更の種類実施者			管理汚染土壌の処理方法
土地の形質の		R5. 6. 28	土壌汚染の除去 壌の掘削による際			土地所有者	有・無		分別等処理
変更の実施状 況							有	• 無	
1/L							有	• 無	
							有	• 無	

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とします。

除去済み特例区域内の土壌の汚染状態

- 1 除去済み特例区域の所在地 名古屋市東区泉三丁目1310番2(詳細は4のとおり)
- 2 試料の採取を行った日令和5年1月21日、2月13日~14日
- 3 調査結果表のとおり
- 4 除去済み特例区域及び試料採取位置図 図のとおり

表-1 土壌ガス調査結果(単位区画) 単位:volppm

						分析	項目					→ <u>I.C.</u> . VOIPpiii
地点名	四塩化炭素	クロロエチレン	1, 2- シ゛クロロエタン	1, 1- シ゛クロロエチレン	1, 2- ジクロロエチレン	1, 3- ジクロロ プロペン	シ゛クロロメタン	テトラクロロエチレン	1, 1, 1- トリクロロエタン	1, 1, 2- トリクロロエタン	トリクロロエチレン	ベンゼン
A2-1	<	<	<	<	<	<	<	<	<	<	<	<
A2-2	<	<	<	<	<	<	<	<	<	<	<	<
定量下限値	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1	0.1	0. 1	0. 1	0.1	0. 1	0.1	0.1	0.05

く : 不検出を示す。

表-2 表層土壤調査結果(単位区画)

		分析項目	基準	定量下限値	A2-1	A2-2
	taka	カドミウム及びその化合物	0.003以下	0.0003	<	<
	第一	六価クロム化合物	0.05以下	0.005	<	<
	1 種	シアン化合物	不検出	0.1	<	<
	特	水銀及びその化合物	0.0005以下	0.0005	<	<
	定	セレン及びその化合物	0.01以下	0.001	0.001	<
	有	鉛及びその化合物	0.01以下	0.001	0.10	0.025
溶出量	害物	砒素及びその化合物	0.01以下	0.001	0.007	0.009
(mg/L)	質	ふっ素及びその化合物	0.8以下	0.08	0. 17	0. 23
		ほう素及びその化合物	1以下	0.1	<	<
	第 ,	シマジン	0.003以下	0.0003	<	<
	三有	チオベンカルブ	0.02以下	0.002	<	<
	第三種特定 第二	チウラム	0.006以下	0.0006	<	<
		ポリ塩化ビフェニル (PCB)	不検出	0.0005	<	<
		有機りん化合物	不検出	0.1	<	<
		カドミウム及びその化合物	45以下	1.0	<	<
		六価クロム化合物	250以下	10	<	<
	種	シアン化合物	50以下	5	<	<
△ <i>七</i> 目.	特	水銀及びその化合物	15以下	1.0	<	<
含有量 (mg/kg)	定	セレン及びその化合物	150以下	1.0	<	<
(mg/Kg)	有害物	鉛及びその化合物	150以下	10	80	32
	- 吉	砒素及びその化合物	150以下	10	<	<
	質	ふっ素及びその化合物	4000以下	100	<	<
		ほう素及びその化合物	4000以下	50	<	<

〈 : 不検出を示す。 : 基準不適合を示す。

表-3 ボーリング調査結果(土壌/第二種・第三種特定有害物質対象)

地点名		分析項目			定量 下限値	深度				
地点和	刀侧-填目		関する基準	表層		0.6m	0.8m	1.0m	2.0m	
A2-1	溶出量 (mg/L)	第二種 特定 有害物質	鉛及びその化合物	0.01以下	0.001	0. 10	0.040	0.001	0. 001	<

地点名			分析項目	汚染状況に	定量	深度				
地杰石	刀仰視日		関する基準	下限値	表層	1.0m	1.2m	2.0m	3.0m	
A2-2	溶出量 (mg/L)	第二種 特定 有害物質	鉛及びその化合物	0.01以下	0.001	0. 025	0.015	0.002	~	<

※表層の値は再掲

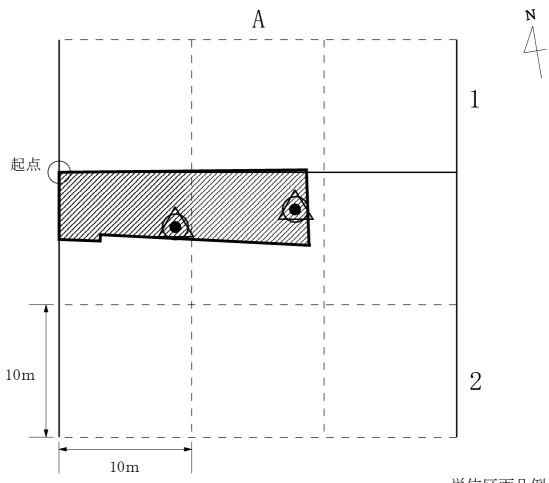
(: 不検出を示す。 : 基準不適合を示す。

表-4 地下水調査結果

	分析項目			定量下限値	A2-1	A2-2
地下水 濃度 (mg/L)	第二種 特定 有害物質	鉛及びその化合物	0.01以下	0.001	<	<

〈 : 不検出を示す。

東区泉三丁目1310番2



単位区画凡例

4 5 6

1

地点名:A1-1

凡例

:調査対象地 (筆の全部)

: 土壌試料採取地点

:ガス調査地点

: 地下水試料採取地点

:除去済み特例区域(鉛及びその化合物(土壌溶出量基準不適合))